

万代の風

万代コミ協だより第22号

2016年(平成28年)8月30日

万代地域コミュニティ協議会

発行者:丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

= 防災力の真価は地域の結束 =

早めですが今年の防災訓練をお知らせします。

万代地区防火防犯防災連合会

会長:大屋 和弘

万代地区防火防犯防災連合会の会長を務めて2年が経ちました。この間、



幸いなことに地域では大きな災害もありませんでした。しかし、「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。皆さんの家庭では日ごろの備えは大丈夫でしょうか?災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることを想定し最低3日以上以上の水と食料を備えておきましょう。

【水】1日1人3リットル×家族分×3日分以上

【食品】日常的に使つ保存性の良い食料品を少し多めにストックし、定期的に食べて食べた分を買い足す。

《非常持ち出し袋》

各家庭の家族構成によって違いが出てくると思いますが、医薬品・飲食物品・衛生用品・貴重品・生活日用品などを入れておきましょう。

《避難所開設》

平成26年4月1日より地震の際に避難所を開設する基準が

「震度4以上」から「震度5弱以上」を観測した区に変更となりました。住宅の耐震化が普及したことにより、震度4では家屋倒壊などの被害が生じにくくなったためです。

《備蓄拠点》

(平成28年4月1日時点) *

- * 浜浦小学校
 - * 旧豊照小学校
 - * 万代長嶺小学校
 - * 沼垂小学校
 - * 鳥屋野小学校
 - * 桜が丘小学校
 - * 寄居中学校
 - * 新潟柳都中学校
 - * 宮浦中学校
 - * 市役所分館
 - * 鳥屋野運動公園野球場
- 災害時には、ここから各避難所へ物資が搬出されます。
- 避難者の方は決して無理をせず可能な作業に参加したりし、声をかけ合って積極的に体を動かすようにしましょう。

《備蓄品》

- (万代長嶺小学校・宮浦中学校)
- アルファ米・粥・保存水・毛布
 - ストーブ・携帯トイレ・洋式便座・生理用品・粉ミルク(生後0〜9カ月児)・粉ミルク(せいご10〜12カ月児)・哺乳瓶・哺乳瓶用消毒剤・おむつ(大人用)・尿取りパット・おむつ(S・M・Lサイズ)・簡易コンロセット・プラスチックコップ・トイレ



“万代地区防連総合防災訓練”

日時 平成28年10月30日(日)
会場 万代長嶺小学校
避難誘導訓練、初期消火訓練
給食給水訓練、救命救護訓練など



地域の皆様の参加をお待ちしています



地域防災の要、防連のみなさん

レットパーパー・発電機・投光器 (平成28年4月時点)

災害時には、行政(公助)だけに頼ることは限界があります。まして想定外の災害時には地域(共助・自助)の役割が大変重要になります。いざという時に適切な行動が出来るように防災知識を身につけましょう。

みやの万代ぶつぶつ

～ 2025年問題 ～

2025年まであと9年。団塊世代が75歳をむかえる。超高齢社会の節目の年となる。多方面に巨り変化していく。高齢人口がピークをむかえ、その後は消費動向もどんどん変動する。また医療や介護現場も様変わりをしていく。今、新潟市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築が期待される。広島県で実施している「在宅緩和ケアコーディネーター」が患者と病院を橋渡しし、自宅でも安心して療養できる仕組みを目指している。平均寿命83.7歳、平均健康寿命は74.9歳、その差は8.8年もある。その間不健康であるかもしれない。超高齢社会を乗り切るには医療、介護関係者だけでは難しい。地域包括ケアシステムは総力戦となるだろう。人生80年時代だと思っていたら、人生90年時代が到来する。

副会長:宮川 善徳

編集後記

9月は行事が目白押し。1日防災の日、9日重陽の節句、中秋の名月は15日、満月17日、19日敬老の日、22日秋分の日。さて、お月見団子、すすき、里芋を飾って美しい月を見上げてみてはいかが

編集委員 田所 暁雄

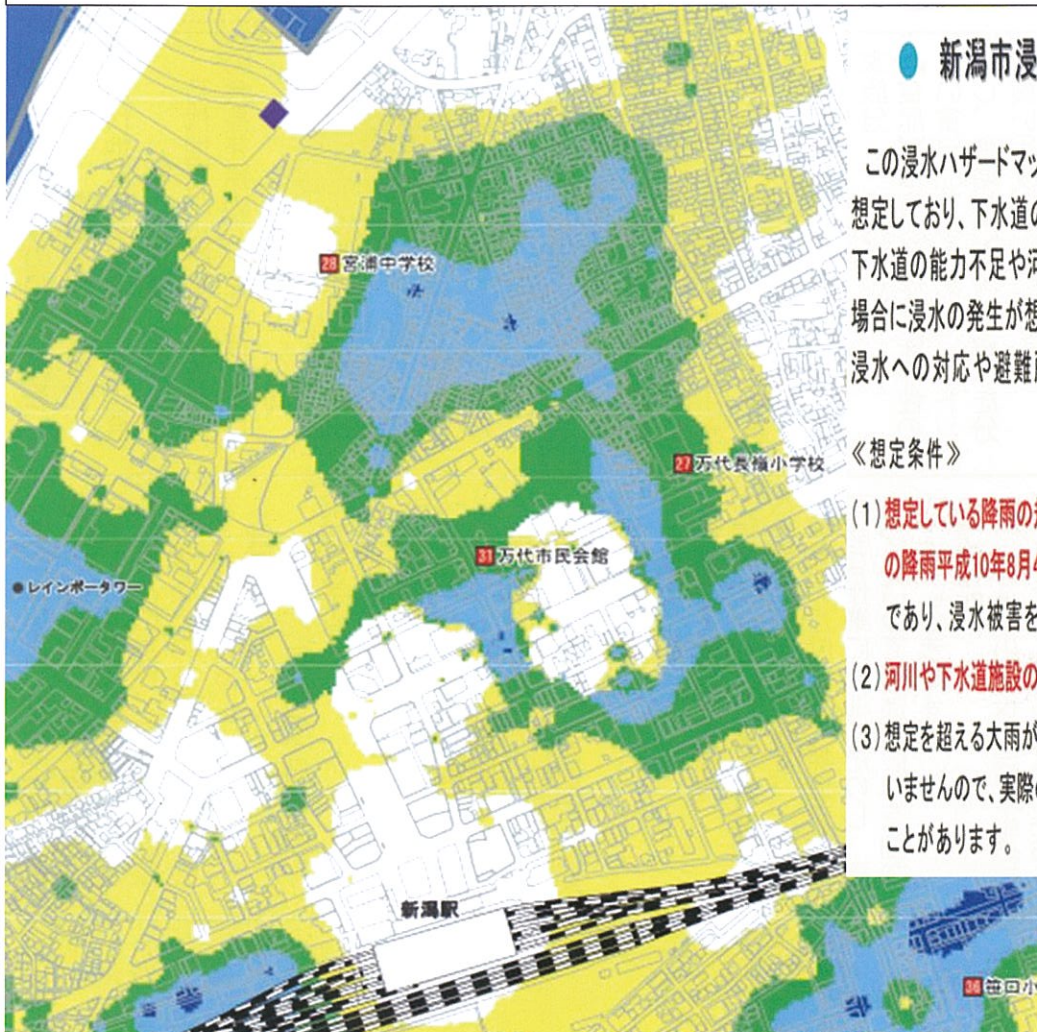
地震による津波、川の破堤や集中豪雨で、この地域には「水害」が発生します。災害の種類によって、被害場所も変わりますが、下の図は平成10年8月に発生した「集中豪雨」と同程度の雨量で想定したものです。普段から周辺の状況を知り、避難するとき役立ててください。（図面には現況との誤差もあります）

新潟市浸水ハザードマップとは

この浸水ハザードマップは、河川のはん濫がはじまる前までを想定しており、下水道の雨水排水能力を上回る雨が降った際、下水道の能力不足や河川の水位が上昇し雨水を排水できない場合に浸水の発生が想定される区域と深さを表示するとともに、浸水への対応や避難所などを記載したものです。

《想定条件》

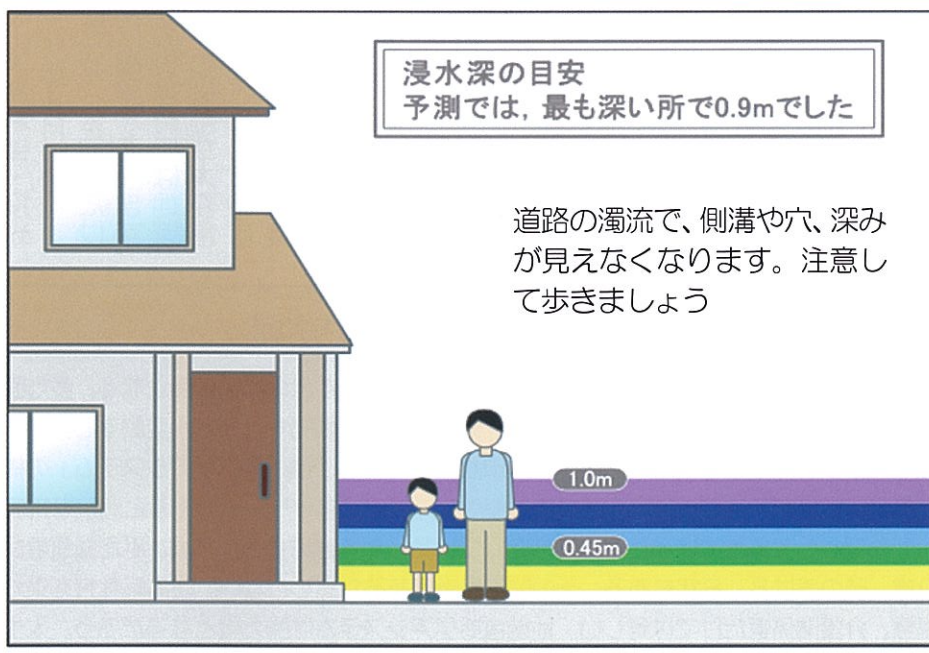
- (1) 想定している降雨の規模は、これまでに新潟市で観測された最大の降雨平成10年8月4日降雨(時間最大雨量:97mm:新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨です。
- (2) 河川や下水道施設の排水能力は、平成23年度末時点のものです。
- (3) 想定を超える大雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる可能性があります。



新潟市の
浸水ハザードマップ
より

浸水深の目安
予測では、最も深い所で0.9mでした

道路の濁流で、側溝や穴、深みが見えなくなります。注意して歩きましょう



凡例

- 区界
 - 対象区域
 - 避難所
 - 冠水の恐れのある主なアンダーパス箇所
- <浸水深>
- 0.8m-1.0m
 - 0.6m-0.8m
 - 0.45m-0.6m
 - 0.3m-0.45m
 - 0.1m-0.3m
 - 0m-0.1m未滿

※アンダーパスとは、道路及び鉄道の立体交差部で掘り下げ式になっている道路(周りの地盤よりも部分的に低くなっている道路)